

(仮称) 寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 検討資料

基本目標Ⅰ 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え安定した「しごと」を育みます

■基本的方向性

- ◇ 地域経済を活性化する産業の創出や雇用の機会を確保するため地域の力を集めて、協力しながらきめ細やかな支援を行い、誰もが安心して働き暮らせる地域をつくる。

(1) きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進

◇既存の取組

- ・ 企業等立地促進事業
(立地促進に関する税制優遇、企業立地雇用奨励金、企業立地促進融資利子補助金)
- ・ 中小企業等補助制度
- ・ 商工会補助事業
- ・ 見本市への共同出店 (テクニカルショウヨコハマ)
- ・ ISO等認証取得事業
- ・ 住宅リフォーム等建築工事推進助成金
- ・ 産業まつり

◇地域分析による意見等

- ・ 施設設備の老朽化が課題。既存支援制度の見直し、拡充
- ・ 企業経営の向上のため、新たな販路 (顧客) 拡大のための支援制度
- ・ 国・県の支援策活用の相談窓口・支援
- ・ 開発等で使用する計測機器等に関する支援
- ・ 外国人労働者の雇用に関する相談支援
- ・ 操業環境に関する相談支援 (以上、企業ヒアリング)
- ・ 交通体系の整備
- ・ 企業誘致
- ・ 中心市街地の活性化
- ・ 中小企業の育成支援
- ・ 商業の振興
- ・ 町内外への店舗情報発信
- ・ 特徴ある商品開発支援
- ・ 取引拡大の支援
- ・ 異業種交流・農商工連携への支援 (以上、商業事業者意向調査)

(2) 地域の魅力となる新たなビジネスの応援

◇既存の取組

- ・湘南ビジネスコンテスト
- ・創業体制支援（創業支援事業計画）
- ・ビジネス体験隊事業
- ・にぎわい創出支援事業補助金
- ・商工会補助事業

◇地域分析による意見等

- ・中心市街地の活性化
- ・中小企業の育成支援
- ・商業の振興（以上、企業意向調査）
- ・特徴ある商品開発支援
- ・異業種交流・農商工連携への支援（以上、商業事業者意向調査）

(3) 地域経済成長を支える人材の育成と確保

◇既存の取組

- ・技能者表彰
- ・優良小売店舗・たばこ販売功労者表彰
- ・湘南就職面接会
- ・勤労者個人住宅取得奨励金
- ・勤労者福祉事業

（勤労者個人住宅取得奨励金・勤労者教育資金利子補助金・勤労者福利資金預託金）

◇地域分析による意見等

- ・人材確保や人材育成のための支援
- ・女性の積極的登用に向けた人材育成支援
- ・人材確保や人材育成のための支援（以上、企業ヒアリング）
- ・女性の就労のための環境・条件整備
- ・若者や学生の就職活動支援
- ・若者の能力開発への支援
- ・福利厚生・施設の拡充、整備（以上、企業意向調査）
- ・後継者育成への支援
- ・経営者への研修（以上、商業事業者意向調査）

基本目標Ⅱ 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります

■基本的方向性

◇ さがみ縦貫道路の全線開通を契機に、訪問先として寒川町が選ばれるために、にぎわいづくりや情報発信の強化など、「寒川町を知ってもらう」ための取り組みを進めます。

(1) アピールポイントの発見・創出と発信力の強化

◇既存の取組

- ・ 情報提供の充実（広報活動事業）
- ・ 観光資源の創出（観光振興推進事業、観光資源創出事業）
- ・ 観光推進体制及び施設の整備（観光資源創出事業、観光協会補助）
- ・ 商業活性化の推進（産業まつり開催事業、商工業支援プログラム推進事業、
商工会補助等）

◇地域分析による意見等

- ・ 寒川神社を中心とした観光環境の整備・充実
（町民ワークショップ、第2次実施計画策定時アンケート、文教大学）
- ・ 年間を通じての観光客の確保（文教大学）
- ・ 商業施設等のにぎわいの創出
（町民ワークショップ、第2次実施計画策定時アンケート、文教大学）
- ・ 町の特産〔花・ゆるキャラ等〕の創出
（町民ワークショップ、第2次実施計画策定時アンケート、文教大学）
- ・ 花等の特産品を周知するため、観賞・購入できる場所が必要（文教大学）
- ・ 既存施設〔公園等〕の有効活用〔リニューアル〕（文教大学）
- ・ 町のPRやイベント等の周知に工夫を〔電子媒体・紙媒体の両面から〕
（町民ワークショップ、第2次実施計画策定時アンケート、文教大学）
- ・ 認知度が低い。もっと強くアピールしていくことが必要（外部委員会）
- ・ 既存メディア（J-COM等）の活用（外部委員会、文教大学）
- ・ 町を知ってもらうきっかけが必要（文教大学）
- ・ 転入促進に関する情報提供〔教育・治安等の各種施策における近隣市との比較等〕
の充実（企業ヒアリング）

基本目標Ⅲ 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります

■基本的方向性

- ◇ 結婚から子育てまでの切れ目のない支援を行うとともに、子どもたちが笑顔で過ごせる環境整備を進めます
- ◇ 子どもたちが確かな学力を身につけるための環境整備を進めるとともに、学校・家庭・地域全体で子どもを育て・見守る社会をつくります
- ◇ 仕事と子育てを両立できるための地域社会をつくります

(1) 結婚から子育てまでの切れ目のない支援の充実

◇既存の取組

- ・「結婚」に関する支援策 なし
- ・子育て支援の充実（子育て支援事業、小児医療費助成、不妊・不育症治療費助成等）
- ・母子保健の充実（母子保健事業、う蝕予防対策事業）
- ・保育環境の充実（保育環境充実事業）

◇地域分析による意見等

- ・出産祝い金を充実して欲しい。（町民ワークショップ）
- ・子どもを3人産むと補助金等がもらえる制度が欲しい。（町民ワークショップ）
- ・「子どものために住みたい」と思われるまちをつくった方が良い（外部委員会）
- ・小児医療費の対象年齢拡大は大きな魅力であり転入促進に効果がある（外部委員会）
- ・小児医療費の対象年齢拡大（第2次実施計画策定時アンケート）多数
- ・保育施設環境の整備・充実（第2次実施計画策定時アンケート）多数
- ・出産後の女性が働きやすいような保育サービスを充実させて欲しい
（男女共同参画社会に関するアンケート）

(2) 学力の向上と家庭教育支援の充実

◇既存の取組

- ・家庭教育の支援（家庭教育講座等開催事業）
- ・教育内容の充実（「生きる力」の育成事業、「地域のせんせい」ふれあい推進事業等）
- ・教育施設の充実（学校施設改修事業、教育コンピュータ活用事業）

◇地域分析による意見等

- ・教育レベルを上げる。（町民ワークショップ）
- ・小中学校の学力を上げる。（町民ワークショップ）
- ・「子どものために住みたい」と思われるまちをつくった方が良い。まずは、教育レベルを上げることを第1優先。（外部委員会）
- ・学校給食の導入（第2次実施計画次アンケート）
- ・学校施設の充実（第2次実施計画次アンケート）
- ・学校教育の充実（第2次実施計画次アンケート）など多数

(3) 子育てを応援する地域社会の実現

◇既存の取組

- ・男女共同参画社会の実現（男女共同参画推進事業）

◇地域分析による意見等

- ・妊娠・出産・育児がハンディキャップになってしまっているが、これがアドバンテージになるといい。
- ・会社に育児休業制度があるが、男性が取得することにかかなりの抵抗があるようだ。どうすれば男性でも育児休暇を取れるのか考えて実行して頂きたい。
- ・育休・産休が取れても職場内の雰囲気は認めていない企業が多いのが現実です。
- ・急には変えられないので子どもの頃からの環境（教育）は大切。

（男女共同参画社会に関するアンケート）

基本目標Ⅳ 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなで作ります

■基本的方向性

- ◇誰もが安心して暮らせるまち、特に地域の子どもたちの安全確保を図るため、防犯対策のさらなる充実を図ります。
- ◇将来発展し続けるまちを実現するため、若者世代がまちづくりに積極的に参画できる環境をつくりまします。
- ◇快適で暮らしやすい生活環境の実現を図るため、交通環境の充実を図ります。

(1) さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実

◇既存の取組

- ・防犯活動の推進
(防犯灯整備事業、交番施設整備促進事業、(児童)防犯対策推進事業 ほか)

◇地域分析による意見等

- ・転居先の環境として「治安が良いこと」は最重要
(町民アンケート結果：第1位 47.5%)
- ・街灯を充実させて欲しい(町民ワークショップ)

(2) まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進

◇既存の取組

- ・なし

◇地域分析による意見等

- ・町でNPO認定のしくみを作って住民活動の応援を
- ・町民が「社会的な課題を解決する組織を作る」を町が応援すべき
- ・若い女性の力を活かし、女性が主体的に生きられるまちづくりを推進して欲しい
- ・若い世代の声をもっと聞いて欲しい
- ・20代や30代の若い人の意見をもっと聞いた方がよい
- ・町民ワークショップなどの機会を増やし、多くの人に参加してもらうことは大切
- ・若い世代に先行投資して欲しい(以上、町民ワークショップ)

(3) より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備

◇既存の取組

- ・公共交通の充実促進(公共交通充実促進事業)
- ・人にやさしい安全な道路整備
(道路橋りょう整備事業、維持補修事業、狭あい道路解消事業 ほか)

◇地域分析による意見等

- ・転居先の環境として「交通の利便性が良いこと」は重要
(町民アンケート結果：第2位 46.9%)
- ・バスの時間帯の再考を(町民ワークショップ)
- ・相模線の終電時刻の見直しなど利便性の向上を(町民ワークショップ)

- ・他の交通手段を増やして欲しい（町民ワークショップ）
- ・安全な通学路の確保に関するもの（第2次実施計画時アンケート） 多数
- ・コミバスの利便性向上（第2次実施計画時アンケート） 多数